

青少年 9 いわて 2018

- 青少年を非行・被害から守る県民大会
- 青少年育成貢献団体・貢献者表彰
- 第1回青少年育成セミナー
- 情報メディア対応サポーター育成セミナー
- 寄稿（斎藤雅博副会長）

青少年を非行・被害から守る県民大会 ～安全で安心な地域社会を築くために～



アトラクション
県警音楽隊

平成30年7月24日(火)
13:30～16:00

会場：小田島組☆ほ～る
(アイーナ7階)

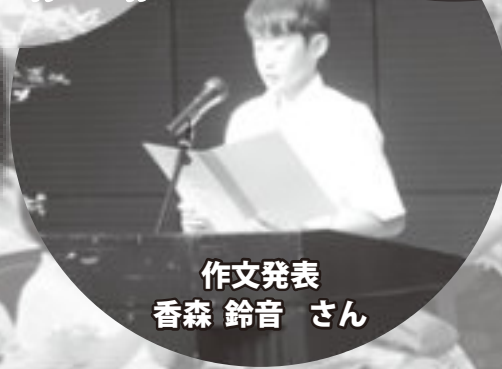
参加者：青少年育成関係者、
関係団体、更生保
護関係者、一般県
民等 約450名



基調講演
堀内 祐子 氏



意見発表



作文発表
香森 鈴音 さん

7月24日(火)「平成30年度 青少年を非行・被害から守る県民大会」をいわて県民情報交流センター(アイーナ)7階小田島組☆ほ～るで、県内の関係機関や団体など約450名の参加を得て開催しました。

意見発表では、昨年度「わたしの主張岩手県大会」優秀賞の三浦さんは、「言葉にする勇気」と題し発表、また作文発表では「社会を明るくする運動」作文コンテスト岩手県推進委員会委員長賞、全国連合小学校長会会長賞の香森鈴音さんが、「明るい社会をめざして」と題し発表しました。

アトラクションでは、県警音楽隊が演奏やスマートフォンの正しい使い方を交えた寸劇を披露しました。

講演では、発達障害(アスペルガー症候群、ADHD、LD)をもつ4人の子どもの母親であり、日本自閉症スペクトラム学会会員、自閉症スペクトラム支援士、特別支援士、傾聴心理士としても活躍中の堀内祐子さんから「子どもを理解する力～発達障害の子とハッピーに暮らすヒント～」と題し、お話いただきました。

大会の最後に岩手県青年団体協議会の松田恵美子会長から、青少年の非行・被害防止のための決議提案があり、参加者からの拍手をもって採択され、閉会しました。



大会決議表明
松田 恵美子 氏

毎月第3日曜日は **いわて家庭の日**

岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として
「いわて家庭の日」を主唱しています。

推進協力：岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部

「子どもを理解する力」～発達障害の子とハッピーに暮らすヒント～



日時：平成30年7月24日（火）13：30～16：00
会場：小田島組☆ほ～る（アイーナ7階）
講師：堀内 祐子 氏
（自閉症スペクトラム支援士、特別支援士、傾聴心理士）

発達障害（アスペルガー症候群、ADHD、LD）をもつ4人の子どもの母親。

我が家では、長男をトルネード謙人と呼んでいます。わ～っとなってそこに巻き込まれます。巻き込まれてすごい勢いで放り出される。謙人君は私の言うことを聞かない。「分かった」と言ったことのない子どもでした。でも謙人君は、パパの言うことを聞きます。

ある日夫が家にいました。その時、謙人君がちょっと悪いことをしたのです。夫は「おい、謙人聞け。お前なそれは大体悪いことだぞ。もう二度とするな。終わり。」と言い、謙人は「うん、分かった」って言ったのです。

スタートがはっきりしている。名前を呼びかけることは大事なことです。次に簡潔に伝え、そのあとに「終わり」と言う。発達障害の子は、長く喋られると分からなくなる。観察・分析、次は「やってみる」。私はこれを「実験」と呼びます。実験だから上手くいくこともあればいけない時もある。でも試してみる。発達障害の子を育てるのは大変ですが、喜びはある。その喜びは成功体験。人の話が聞けないというのはその能力が低い。その能力が低い方に対して、周りが配慮すればいいと思う。



堀内 祐子 氏



講演の様子

自閉スペクトラム症の特性として、拘りが強いということが言われます。同じことを何度も言う。自閉スペクトラム症の人は、自分で選ぶことによって気持ちが切り替わります。

同じことを言い続けたら、「〇〇と〇〇どっちを選ぶ？」とその子にとって両方魅力的な選択肢を用意して選んでもらう。それが有効だということに気づき、楽になった。

「発達障害の子とハッピーに暮らすヒント」という本は、長男が「俺を育てるのに苦労しただろう。同じような思いをしている人のために役に立ちたいと言っていたら、本を書け」と言ったのが10年くらい前です。それで本を書きました。自分が変わって、できることをしていく、そして願いは叶えられると信じてその目標に歩いていたら道は開けると私は心から信じて、今もそのように歩いています。

岩手県青少年育成県民会議表彰



日時：平成30年6月13日（水）14：30～16：00
会場：804-A会議室（アイーナ8階）

6月13日（水）、公益社団法人岩手県青少年育成県民会議通常総会の席上で、県内各地域で青少年健全育成の優れた活動を展開している方々に対する「岩手県青少年育成県民会議表彰」を行いました。

この表彰は、県内各地域で、青少年の育成活動、支援活動、自主活動等に永年取り組まれ、多大な功績のあった方々を表彰するもので、青少年育成活動団体1団体、青少年育成指導者3名の表彰を行いました。



受賞者スピーチ

受賞団体・受賞者一覧

青少年育成活動団体（1団体）

岩泉剣友会

青少年育成指導者（3名）

おがさわら よしあき
小笠原 義章（日本ボーイスカウト岩手県連盟）
ちだ ちえ
千田 千恵（ガールスカウト岩手県連盟）
かとう よしお
加藤 義男（（特）もりおかユースポート）



岩泉剣友会



小笠原 義章 氏



千田 千恵 氏

※加藤義男氏は所要のため欠席

第1回青少年育成セミナー 講演要旨

子ども・若者の貧困を考える



日時：平成30年7月5日（木）13：30～15：30

会場：団体活動室2・3（アイーナ6階）

講師：森田 明美 氏（東洋大学社会学部教授）

子どもの成長は、子どもの力と、親の養育力と、社会的な支援と、地域環境がそれを包み込めるかという4つの要素が関連しあって形成されていく。子どもの貧困というのは、子育て家庭の3つの要素、家計の確保、生活運営、子どもの後見のバランスが取れていない不安定な状態である。

私が山田町で、中高生向けの軽食付きの自習室を始めたのは、2011年8月。子どもの貧困は、子どもの希望を奪ってしまうから救わなければならない。そして一人親の家庭では、貧困度というのが、相対的にすごい。

1990年代から日本は、虐待の問題と少子化の問題が増え、さらに貧困の問題が出てきた。こういうトリプルの問題を抱えているのが子育て家庭の実態。

5つの「…にくさ」を克服していくと、子どもの貧困は解決していくと思う。



講演の様子

- (1) 子どもの声は届きにくい
- (2) 貧困は見えにくい
- (3) 貧困は支援につながりにくい
- (4) 貧困施策は利用しにくい
- (5) 貧困施策の効果は見えにくい



森田 明美 氏

一番大切なことは、若者達が主体になるということ。貧困を乗り越えるのは簡単ではないから、乗り越える価値が自分の中で見えない限りは、貧困を乗り越えられない。

貧困は、すごく孤立している状態である。その時に人が回復していく3つの形成過程がある。意味ある大人と出会い、その中で対話が成立し、その中で肯定感が形成されていく。子ども若者の貧困を救う、誰でも出来ることというのは、対話である。若者たちが回復していく過程、あるいは絶望の中に孤立で固まらないようにするために、力を合わせていただきたい。

平成30年度情報メディア対応サポーター育成セミナー

「子ども達をネットトラブルから守るためにできること」



日時：平成30年7月21日（土）10：00～16：30

会場：団体活動室1（アイーナ6階）

講師：市野 敬介 氏

（NPO法人企業教育研究会事務局長、長岡造形大学非常勤講師）

7月21日（土）にアイーナ6階の団体活動室1で「情報メディア対応サポーター育成セミナー 子ども達をネットトラブルから守るためにできること」を開催しました。子ども達のインターネットトラブルについて助言や支援、啓発活動が行えるサポーターを育成することを目的とし、NPO法人企業教育研究会の市野敬介氏を講師に、講演やタブレットの操作体験、ドラマを基にしたグループでの意見交換等を行い、1日かけて、ネットトラブルに対する指導のポイントや必要な知識の習得を行いました。

午前中は、青少年のスマホ利用の現状について、最新の情報等を提供していただき、午後はテーマに沿ったドラマ観賞によるグループワークや実機体験を行い、参加者同士が意見を交換しあいました。

「メッセージ交換アプリを使用した友達とのトラブル」や「動画投稿サイトへの不適切な行為の投稿による炎上騒動」、「スマホを購入する際の家庭での取り組み」をテーマとした3つのドラマを視聴し、ドラマ内で起こったトラブルに対して、対処方やアドバイス等についてグループで意見交換をしました。

タブレット端末の利用体験では、架空請求や個人情報の漏えいといったトラブルを体験したり、フィルタリングを実際に設定しました。

受講者からは、「とても分かりやすく説明していただいて、大変勉強になりました。」や「他の方の違う意見が聞けて参考になりました。」等の感想がありました。



グループで意見交換

市野 敬介 氏

寄稿 「家庭の日」に思う



毎月第3日曜日は「いわて家庭の日」ということをどれだけの県民が知っているであろうか。恥ずかしながらかくいう私も岩手県青少年育成県民会議に携わることになり初めて知ったことでした。

本県では青少年育成県民会議が平成18年5月に県民運動として提唱し、取り組みを始めたものであり、これまでも様々な関連事業に取り組むなど推進をして参りましたが、12年経った今もその認知度は低いと言わざるを得ない状況にあると思っています。

「いわて家庭の日」とは、青少年の健やかな成長のために、家庭の果たす役割を認識し、家庭の大切さを呼びかけ、家族・親子のふれあいを深めるきっかけとする日です。キャッチコピーは「いい日 どんな日 家庭の日 家族そろって食事」となっています。恐らくこういった趣旨の運動であるということを理解していただければ、殆どの方が賛同してくれるのではないかと思います。一般には拡がりが見られない状況にあります。

非行、いじめ、虐待等の事案発生を考えると現在の青少年を巡る環境は決して良い状況にあるとは言えません。現代は時代変化のスピードが早く、大人でさえも文明の利器とのギャップに悩まされる時代、青少年を取り巻く環境はより複雑かつ多様な問題を孕んでいるように感じます。

次代を担う青少年が健やかに育ち、明るく豊かで安全な未来を築いていくことは、我々県民全員の願いであるとともに、私たち大人に課せられた責務であります。「家庭の日」はそれを果たす極めて重要な方法の一つであると思います。

青少年は岩手の宝であり、彼らが健全に育つということは岩手の明るい未来に繋がることです。「家庭の日」に当たり、折角立ち上がっている意義ある県民運動を広く県民に周知し、活動を盛り上げ、大人の役割を果たして参りたいと思います。

齋藤 雅博 (岩手県青少年育成県民会議副会長)

正会員・賛助会員募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

1. 会員： 会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料等をお送りします。
2. 協賛企業： 県民会議 HP バナー広告、広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。



区分	形態	年会費
正会員	個人	3千円
	団体(法人)	6千円
賛助会員	個人	一口12千円以上
	団体(法人)	一口25千円以上

青少年なやみ相談室

どうしていいかわからない。
困っているとき、苦しいとき、不安なとき。
思い切って電話してみませんか？
相談は無料です。秘密は固く守ります。



電話：019-606-1722

相談時間	日	月	火	水	木	金	土
9:00～16:00	○	○	○	○	○	○	○
16:00～20:00		○			○		

※年末年始及びアイーナ休館日を除く毎日対応しています。

メール：nayami@aiina.jp (24時間受付中)

面接：事前の予約が必要です

詳細はホームページ

(<http://www.aiina.jp/seishounen/nayami/>) をご覧ください。

第5回 いわて親子フェスティバル in アイーナ
10月8日 10:00～16:00 月・祝日

アイーナ一日中あそぼう!

- ★「つくってあそぼ」のわくわくさんでおなじみのくぼたまさとさんが今年もやってくる!
 - ★できたくんと工作しよ〜!
 - ★いわて子どもの森出張ワークショップ開催!
 - ★親子でつくらう! 遊ぼうコーナーほか
 - ★ミニSL! 段ボール迷路!
 - ★キャラクターたちもやってくる!
- などの楽しい企画が盛りだくさん!



参加費無料
材料料が必要なコーナーがあります



協力/
県民活動交流センター
シェアスペース シニアものづくり隊
できたくん(ケイダッシュステージ)
盛岡ボードゲームクラブ

できたくん

フェスティバルに関するお問い合わせや各種お申込みについては、センターのホームページをご確認ください。

情報発信中



岩手県青少年育成県民会議

HP: <http://www.ipayd.server-shared.com/>

Facebook: @iwateyouth

青少年活動交流センター

HP: <http://www.aiina.jp/seishounen/index.html>

Facebook: @yacaiina

Twitter: @ya_center

イイね! フォローする
で最新情報をゲット!!